

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

July 2015

年4回(1・4・7・10月)発行

永年勤続表彰 おめでとうございます！

(五十音順)

5月9日(土)千葉市生涯学習センター大研修室において、2015年度永年勤続審判員表彰式を開催いたしました。本年度は次の7名の皆様が受賞されました。



20年表彰	遠藤光男(えんどう みつお)氏 (市川市) 及川隆志(おいかわ たかし)氏 (習志野市) 小林利男(こばやし としお)氏 (富里市) 谷清美(たに きよみ)氏 (埼玉県) 森義也(もり よしなり)氏 (柏市)
10年表彰	坂口 寛(さかぐち ひろし)氏 (船橋市) 藤崎 武彦(ふじさき たけひこ)氏 (富里市)

当日ご出席いただきました小林氏および谷氏ご両名に高山克彦副委員長より記念品として表彰盾が贈られました。残念ながらご都合でご欠席された5名の方々には後日発送にてお届けいたしました。

ご出席いただいたお二人より一言ご挨拶いただきましたのでご紹介いたします。

●小林 利男氏

自分の人生の節目である還暦を迎えるにあたり、記念に是非いただければと考えておりました。
今まで周りの皆様の協力があったからこそ、20年間続けられたと思っております。現在4種をやっていますが、一番の原動力は子供たちの笑顔であり、涙でありました。これからも何年できるかわかりませんが、足が動く限りやりたいと思います。ありがとうございました。



●谷 清美氏

委員会の方、地域の方、そして家族といった大勢の皆様にご支えられて20年という節目を迎えることができました。本当にありがとうございます。これからは微力ではありますが、できる範囲で協力していきたいと考えております。本日は誠にありがとうございました。



また、高山副委員長より以下祝辞を頂戴しました。

永年勤続表彰受賞の皆さん、おめでとうございます。
先ほどご挨拶いただきました通り、ここで終わるのではなく、この先も20年あるいは30年を目指して審判活動を続けていただき、次の表彰式でもお会いすることを楽しみにしております。
これからも活動の方を是非よろしくお願ひ申し上げます。

目次

永年勤続審判員表彰	1	各種講習会のお知らせ	11~13
決勝審判員表彰	2~3	その他のお話	14~15
特別企画！！	4~6	郡市協会だより	15~16
2015年度 2級、3級昇級審査のお知らせ	7~10		

平成27年度 第30回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 決勝戦

2015年5月30日(土) 12:30キックオフ ~ 柏の葉公園総合競技場 ~

ドラゴンズ 1(1-1, 0-1)2 WINGS

主審:山崎 久氏、副審:西本 滋一氏、山田 圭一氏(文中敬称略)

Q. まずは今日の試合の感想をお聞かせください

山崎:こんな大きな大会のしかも決勝は初めてだったのですが、審判チームでコミュニケーションを取りながら、楽しくできました。試合中は楽しくて「もう終わっちゃうの?もっとやりたい!」と思いながら審判していました。そして、またこういう機会をもらうために、「もっと頑張らなくちゃ!」とも思いました。

西本:こういう試合を割り当てていただいたことに感謝するとともに、楽しかったし充実した80分でした。山崎さんとは久しぶりにチームを組むのですが、実は先週外ロポリタンリーグでも一緒になり、予行演習ができていたので良かったです。

山田:割り当てをもらった時は「自分でいいのか?」と思いましたが、受けた以上は頑張ろう!と思い、終わってみて楽しくできました。



Q. 普段はどんなカテゴリーで活動しているのですか?

山崎:1種から4種までまんべんなく活動しています。本格的な審判活動自体は2011年に3級を取ってからなので、まだ5年は経っていないのですが、県の割り当て以外にも4種や高校のチームなどにも声をかけていただき活動しています。いろんな方からの繋がりで活動させていただいているので、感謝ですネ!

西本:私も県からの割り当てを中心に活動しています。社会人からクラブユースまで割り当てをいただいています。

山田:私も割り当ては8割がた3種で、あとはたまに大学生や社会人のアシスタントを主に、その他は4種でも活動しています。4種は柏の方のチームの帯同審判です。

Q. 本日の決勝の割り当てをもらってから心掛けたこと、準備したことは何かありますか?

山崎:今回、決勝を担当する前に予選も担当し、たまたまですがドラゴンズさんの試合を2試合やったのに対し、WINGSさんは担当しなかったの、見ているチームと見ていないチームでファウルの基準が変わらないように、先入観をもたないように気を付けようと思って試合に入りました。あとはせっかくなので「楽しもう!」と思い体力的にも準備してきました。

西本:私は特に特別なことはせず、週に3~4回ジムでトレーニングしているので、通常通りに準備しました。

山田:私は流経柏のグラウンドが近いので、実は山崎さんの試合を見に行行って山崎さんのレフェリングを見てある程度頭の中で把握しつつ、後は時間が取れない中でスクワットとかを自宅で見つけてやっていました。また、この世代の試合を見てイメージトレーニングもしていました。

Q. 審判をするようになったきっかけは?

山崎:ありきたりですが、お父さん審判員からです。4種のチームで活動していた時、たまたまそのチームが1種のチームを立ち上げて、その帯同審判をしながら3級を取り、そこで県の割り当てでも!という事になりました。サッカーは社会人になってから始めたので学生時代は経験していません。子供と一緒にサッカーしたり、自分もプレーしたりしながら身体が動くので審判も!という事で始めました。審判では4種2ブロックの方々にもお世話になり、県の割り当てを受けるようになってからは、色々な方々と知り合いになりご指導頂き非常に感謝しています。

西本:私も典型的なお父さん審判員です。子供が4種のチームでお世話になっている時に審判を始めて、子供が中学生になった時に、そのまま審判を続けて平成10年頃に3級を取りました。4級からは20年以上になります。たまたま4種の主審をある方に見てもらったときに「なかなか、いいんじゃない?3級取れば?」と言われて、その気になって3級を取りました(笑)

山田:私は二人とはちょっと違って、もともとサッカーは学生の時からやっていたのですが、実は見る方が好きで、柏に住んでいるのでレイソルの試合を結構見ていま



した。一度、会社のフットサルチームでプレーしたのですが、なかなか身体が動かず、体力的にも選手はきつ
いかな?と思い、見るのも少し飽きてきたので「身体を使って出来ることは?」という事で審判を始めました。
とりあえず3級まで取れば辞めてもいいかな?と思ったのですが、いざ県の派遣とかを受けると楽しくて今に
いたります(笑)

Q. やって楽しくなるという事ですが、どんな時に楽しい(はまった)と思いますか?

山崎:野田のチームの帯同審判をしていた時に、普段から荒いチームとそうでないチ
ームの試合を担当した時に、実は前回の対戦では非常に「荒れた」と聞いてい
て、その後の私の担当した試合が何事もなく上手く淡々と試合が進み、終わっ
た時に両チームの選手から「ありがとうございました!」と言われた時に「ああ!
いいかも!」と思って、それから審判にはまり、「県の割り当てを受けてみようか
な?」と思うきっかけとなりました。あの試合が私のターニングポイントです。あ
とは色んな方と知り合いになれて、いい刺激をもらえるのも楽しいですネ!

西本:私は流山市内の中学生の大会の審判をよくするのですが、昔担当した中学生
が大人になって社会人リーグの割り当てをいただいた時に選手から、「中学生
の時に世話になりました!覚えていますか?」と挨拶してくれる事があって、
そういう時が審判していて楽しいな!良かったな!と思いますネ。その都度、
試合は楽しんでいますが、いきなり「僕を覚えていますか?」と言われた時は
「いちいち全員覚えてないヨ!」と思いつつも嬉しものです(笑)

山田:最初に4種の審判から始めたのですが、私のイメージとして審判は大変だし、選手や監督からも色々(文句を)
言われるし、そんなに楽しいものではないかな?と思っていたのですが、実は意外とそうでもなくて、4種の試
合でも上手く行った時は感謝されたり、「ありがとうございました!」と言われたりすると、段々と「審判も悪くは
ないかな?上手くやれば感謝してもらえし」と、思うようになりました。悪く言われるのは自分が未熟だから
で、それはまた次に頑張ればいいことだと考えるようになりました。派遣審判になってからは、西本さんが言う
ように昔知っていた選手が大人になって「僕のあの時のプレーどうでしたか?」とか声をかけてくれたりして、
そういう事があると派遣審判も楽しいな!と思うことがあります。選手の成長を感じられるのがいいですネ!
(全員、うなづく)



Q. 最後に、みなさん審判をいつまで続けますか?

山崎:(キッパリと)生涯!沢山色んな先輩方を見てきて、まだまだ(自分も)続けたいな!と思うし、大先輩に負けて
られないな!と思いますネ!(と、西本さんの顔を見る)

西本:おいおい!俺の顔を見るなよ!(笑)

山崎:いえいえ!ごめんなさい!そういう意味で見たんじゃないっすよ(笑)

西本:私はまだまだやりますヨ!一応、去年の終わりで665試合になり、今年がもう20試合くらいになるので、とりあえ
ず700試合くらいが目途になってるのですが、まあ、審判をやらなくなると家内から「おとうさん、泣いちゃうで
しょ!」と言われるので、(笑)レフェリーをやるためにジムに行っているし、辞めちゃったらジムにも行かなくな
ってしまうので、とりあえず身体が動く限り続けます(笑)

山田:柏の大御所も頑張っておられるので、自分も体力の続く限りは、大御所を見習いつつ頑張ります!(笑)

インタビューご協力ありがとうございました。
みなさん、帯同審判として活動していくうちに
審判が楽しくなり、いつまでも身体が続く限り
続けたいと考えているようですね!頑張ってください!

★ Hang
in
There! ★



左から:山田氏、山崎氏、西本氏

特別企画！！

Sachiko, ¡Buena suerte!

～千葉からW杯へ～

※ ¡Buena suerte!=スペイン語で、“good luck”の意

6月6日より開幕している女子W杯。連覇を目指すなでしこジャパンの活躍に注目が集まる一方で、審判関係者、とくに千葉県の審判関係者は千葉の誇るトップレフェリーの1人である山岸佐知子さんの“もうひとつのなでしこジャパン”山岸・手代木直美審判員チームにも注目している方が多いことと思います。

今回、開幕直前に山岸さんと総務部取材班がお会いして、これまでの道のりと、目前に迫る女子W杯への意気込みや心境についてインタビューさせていただきました。

－これまでのスポーツ歴や、審判以外の趣味について

中学、高校ではバレーボール(ポジションはセッター)をやっていました。短大でサッカー部に入って、DFをしていました。卒業後に地元に戻ってからも、時折プレーしていました。

以前はボディーボードもやっていて、早朝に外房の海へ行って、帰ってきてサッカーをして、夕方に審判をして…と。今はムリだけど(笑)。

他にスキーやスノーボードもやっていたけど、どれも中途半端ではいけないと思って。また、怪我をして引き受けていた審判割り当てでで迷惑をかけたりするわけにはいかない、と思うようになってそれらはやめました。－審判活動の傍ら、これまでに幼稚園での体育指導、スポーツショップの販売員、国立スポーツ科学センターでの研究補助など、スポーツに関わりのあるお仕事を多くされてきているそうですが、仕事を探すときに、こだわりを持っている点があれば教えてください。

もし、自分が審判をやめてしまったときに正社員としてやりたいな、という職種を選んでいることが多いです。スポーツ関係以外にも、人に紹介していただいた縁で、発泡ゴムの分析、統計処理をしていたこともあります。それも合せて、相手を察する、周囲の空気を感じるセンサーのような感覚は様々な場面で研鑽できると思うんです。

同僚や顧客がどんなことを考えたり、求めているかなどを観察することで自分自身の感覚を磨いたりするなど、得難い経験をさせていただいた、と思っています。審判をうまくなりたいから審判だけをやっていたらいい、ってことは決してなくて、正論を言っても相手に受け入れられないことって、あると思うのですが、それを受け入れてもらえるタイミングや言い方を学んだり。それは結婚生活でも学んだかな(笑)

－結婚する前としてからで、ダンナさんとの関係で何か違う点があれば教えてください。

特別に変わったことはないです。原則的にトレーニングは一緒にしません。結婚当初に一緒にしていた時期もあるのですが、例えば走っていると、互いに前に出ようと競い合うので、疲れる、と(笑)。なので、自分でトレーニングメニューも組み立てて、どうしてもわからないことがあれば教えてもらうようお願いしています。話題の中で、常々トレーニングにまつわる話は出てくるので、自分自身でも以前から意識を高く持って取り組んできたつもりではあるけど、より意識は高まったかもしれないですね。

－プレー経験が少ない中で、プレーヤーの意図を考えたりゲームを読むのに苦労はしませんでしたか？

あまりその点で苦労した覚えはないです。少年サッカーの指導をしていた時の先輩について、最初は副審ばかりしていて、そのうち主審もやるようになって、最初はどう動けばいいか分からなかったのですが、対角線の動きを教わり、その通りに動いていると、今度はARサイドのコーナー付近でプレーがされていると、遠すぎるなあ、と。そうしたら、ボールから10mくらいの距離で動けばいい、というヒントをもらって、それからずっとそれを基本にやってきました。あとは、プレーヤーがどっちにパスするかなあ？と考えつつ動いています。

－審判が好きになったターニングポイントを覚えていたら教えてください。

最初は本当に審判に魅力は感じなかったです。3級になってから、周囲の自分を見る目が変わってきたことに気づいて「しっかりやらなくちゃいけない」と思うようになりました。好きになった、とは違うけど、半ば強引(?)に当時の東委員長に3級を受験させられ、その時の筆記・体力試験の成績が一緒に受験した女性の中ですべての種目においてピリで、そこで気持ちに火が付いたのは覚えています。

－昔から負けず嫌いだっただんですね(笑)。

ええ(笑)。当時活躍されていた県内審判員の皆さんのレフェリングを目の当たりにして、男性、女性に関係なく、同じ



【山岸佐知子さんプロフィール】

1973年市原市生まれ。
短大入学と同時にサッカー部入部、4級審判員資格取得。その後一度失効し、地元の少年サッカー指導の手伝いを始めて再取得。
1996年3級、1997年2級、2000年女子1級、2003年より国際審判員。2009～2010年1級審判員。
これまでにユニバーシアード、U17女子W杯、ロンドン五輪などをはじめとする数々の国際試合のほか、2009年には全国高校サッカー選手権大会千葉県予選決勝の主審を務めた。
2005年には1年間メキシコに留学。
アジア年間最優秀女子レフェリーをこれまでに5度(2008年、2010～2013年)受賞。
家族は、夫(山岸 貴司さん)と愛犬(クックロー)

色のワッペンを付けている以上は、私も同じようにしっかりしたレフェリングをしよう！と取り組んできました。負けず嫌いが高じて、この(審判の)世界に入っちゃったんですけど、審判にしる職場にしる、いつも現場で支えてくださる人がいるのは、本当にありがたいな、と。親がきつとそういう星のもとに産んでくれたんだらうな、と。

－審判活動を始めて間もないころ、審判活動で目標にしていたことがあれば教えてください。

3級のころは、その昇級試験の成績から、2級試験のときは全部トップになってやる、ともう勝手に2級を受験することを心に決めていました(笑)。同じく3級のころ、関東の研修会に参加させていただく機会があって、当時何も知らない私はサンダルにジーパン、Tシャツで出かけて行ったんです。そうしたらみんなスーツ着て、ピシッとして…で、やはりペーパーテストが出来なくて、せっかく遠くまで派遣していただいたのに、4thしか割り当てられなくて悔しくて…。そう言う悔しい思いを晴らしたいというのはあったけれど、国際審判になりたい、とかW杯に行きたい、とかは思っていませんでした。

－2級、女子1級とステップアップしていった、いつからW杯の存在を意識しましたか？

意識したことはないです。

－全然？

全然(笑)。自分から意識したことはないです。今の若い子とかは西村雄一さんみたいになりたい、とか思っている子もいるだろうけど、私はそういうのがまったくなくて、当時の県内のJリーグ審判員の太田さん(現千葉県協会専務理事)や松崎さん(現日本協会常務理事)とかも全く知らなかった(笑)。2級の頃も、自分がへたなのが分かっていたから、上手くなりたくて、いろんな人に積極的に電話かけて、いろんなところへ出かけて、練習試合でもなんでも審判させてもらっていました。当時の割り当て担当をしていた西牧さんにも「キャンセルはないですか？どこでも行きます!」とよく電話していました(笑)。

－山岸さんと同じ世代で、大岩真由美さんや、深野悦子さん、高橋早織さんが前回までに女子W杯に参加されていましたが、彼女たちがW杯に行くことが決まった時には、どういった思いが？

私には何か足りなかったんだ、と思いました。

－行きたい、という思いはあった？

適切な言い方かどうかかわからないけど、「行かなきゃならない!」と思うようになってきました。数えきれないくらい多くの人にお世話になってきたので、それを形として恩返し、となるとそういう場所、というのもあったのかもしれない。けど、運もあるじゃないですか。1級から女子1級に戻って、でもアジアなどで様々な経験を積ませてもらって、それを活かすには次はもっと上のステージで、となるでしょう？で、アジアから出て行って、私がいいパフォーマンスをすることが、アジア全体のいい評価につながっていく、そういう責任かな？

－1級になって…

ケガすることが多くフィットネステストに合格できない時期が続いて。結局1試合もJFLの主審ができなかったんです。で、最終的に女子1級に戻んですが、高い目標を持っていて、それが叶わなかった時に、自分の性格上もう(審判を)をやめよう、って思ったんですね。また元のカテゴリーに戻ってやるってことが自分の流儀に反すると思えて嫌だったんです。それを決断するまでにすごく悩みましたし、女子1級に降格します、という言葉が喉元から声にするには何百回と葛藤し、とても時間がかかりました。それを後押ししてくれたのは主人です。そして、日本協会にテストをパスできないから、と落とされるのではなく、自分の言葉でカテゴリーを下げたことによって責任も生まれ、私のその後の行動がポジティブになることができたと思います。

－今まで審判をやっていて一番感激したことは？

北京五輪の最終予選で北朝鮮vsオーストラリアの試合の主審を務めたとき、オーストラリア代表とホテルが一緒で、試合はオーストラリアが負けてオリンピック出場を逃してしまったのだけど、試合後宿舎に到着してバスから降りたら、選手の1人が私たちに近づいてきて、『今日はありがとう。負けちゃったけど、あなたたちのおかげで全力を尽くせた。』と言われて、認めてくれたのが嬉しかったです。

－審判活動に対して積極的に活動してきた一方で、不安や恐れを抱いて臨んだことは？

あります。自分の調子が良くなかったり、すごくプレッシャーがかかる試合の前とか。でも、考えても、何も変わらないし、変えられないし。それに私の場合、考えるとコトが良く運ばないことが多いので、もちろん予測すること(こういうことが起きたらこう対応する)は大事なんだけど、最後は心を整える段階で腹をくくって終わりにします。私はあまり論理的なタイプではなくて、感覚を大切にしているタイプなので、あまり細かく深く考えず、自分がいつかはこうした試合を吹きたいとしたら、今どうしたらいいのか考えて、それをひたすら積み重ねます。

－自分がこういった試合を審判してみたい!と思った試合があるんですか？

唯一あったのが、高校選手権です。審判を始めた当初から、男性女性に関係なく、審判として信頼されたい、と。

男子の試合で、まずはU15のクラブユースのゲームから始めて、県の社会人2部とか、高体連…とペーススピードが速い試合を任されるには、まずは練習試合やフェスティバルなどで実績を積んで、信頼を得て、足場を固めないと。チャンスは待っていても来ないので、1つ1つコツコツと。



—その1つ1つステップアップする過程で、克服するのが難しい壁が立ちはだかったことは？

ありましたよ～。山ほど(笑)。迷ったときは、基本的に立ち返ってみるのが究極の解決法ではないか？と。ステップアップするためにいろんなことを試したくなるけど迷っちゃった、ということは誰でもあると思います。例えば、丘の上からルートを確認して森へ入って行ったけど、道に迷って、また丘の上に戻って見たら、あっちへ行けば良かったんだ、と確認できる、みたいな。うまくできなくても逃げないことが大切か、と。審判って、ゴールがないから、自分で終着駅を決めるのが面白かったり、なんとなくうまくいった、うまくいったけど課題があるし、今日の試合がうまくいったからと言って次の試合がうまくいくとは限らないし、それも面白いかな、と思います。自分がどこで満足するか、なんだと思います。些細なことで満足したり、こんなにうまくいったように周囲からは見えても本人は満足していなかったり。

—お話を伺っていると、大きな目標に向かって、というより、目の前の試合を1つ1つしっかり、という姿勢が窺えるのですが、年始にも大きな、今年の目標とか設定していないのですか？

それは…家族平和、元気に過ごす、でしょ(笑)

—とても基本的ですね(笑)

家族がいる人も、シングルの方も、自分の生活の基盤がしっかりしていないといふレフレッシングが出来ないでしょう？

…と言いつつ、私は結構仕事を変わっているんですが、それはそれで、簡単な決して楽な道ではなかったけれど、そこは決して妥協しない、って自分の中で決めていたものはあったし、審判にしても自分がヘタだとわかっていて、ならたくさんやってうまくなればいい、と思っていました。それに身近なところで、いろんな手本になる先輩方がたくさんいらして、自分にとってはそれが良かった、と思います。県の(男子)社会人の試合に割り当てられると、同会場で朝から1日4試合組まれていたら、自分の試合が何試合目かに関係なく1試合目から会場にいて、オフィシャルの方やアセッサーの方と一緒に試合を見させていただいて、意見を交わして勉強していました。

—千葉県について…

私は社会人リーグ1部の試合に行って、インストラクターの方に一言二言いただけるのがとても嬉しかったです。昔のインストラクターって、みんな怖かったじゃないですか。ゲンコツ飛んできたり(笑)。でも、見捨てずに見守られているのはすごく感じました。あれやれ！これやれ！と過剰には言われなかったし。千葉県の皆さんに家族のような温かさを感じてます。すっかりご無沙汰しちゃってますけど、なんとなく帰れる場所だな～と。温かく見守られてきたからこそ続けられてきたのかな、と思います。

—W杯とオリンピックの重みって、全然違いますか？

どうでしょう。。実際に行ってみないとわからないですね。ただ、言えるのは、(女子W杯の)選考をするにあたり、2年前からふるいにかけられていて、セミナーに行ったり、U-20の大会に行ったり。。オリンピックは前年の女子W杯やアンダーエイジの大会のパフォーマンスを考慮しての選出なので、(選ばれて)本当にびっくりしました。段階を踏んでいる、ということではW杯のほうが実感があって、でも、その決定通知がEメールで送られてきたときも、嬉しさは一瞬で、すぐに大会までどう準備をするべきか、に頭は切り替わっていました。私たちは選ばれておめでとう、ではなくて、いかに現場でいいパフォーマンスができるか、が大切だと思っているので。

—目前に迫るW杯に対する思い、イメージを聞かせてください。

なんとなくワクワク(笑)。フタを開けてみないとわからないけど、きっと楽しい場所だと思います。出発まで1ヶ月を切っただけで毎日慌ただしい生活を送ってますが、そんな中でも本大会に向けて心身ともに準備を重ねています。本番では大会成功のために、自分の任務をしっかり果たして来たいと思います！

わんダフル！なお話をまた聞かせてくださいね！



山岸家の愛息

《2015年度 第2回 サッカー2級審判員推薦審査のお知らせ》

(この推薦予備試験は平成28年4月に行われる関東協会2級昇級試験のための予備テストです)

1. 資格要件

- (1) 受験資格: 2015年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること。
 - ①サッカー3級審判員として30試合以上の審判を行っていること。
 - a. 30試合のうち、20試合以上主審を務めていること。
 - b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。
 - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。
 - ②サッカー2級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。
注意: 顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する
- (3) 健康など
 - ①認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ②スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
2級審判員昇級後は(公財)日本サッカー協会や関東サッカー協会、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

● 第1次審査: 書類審査

- ① 審判実績確認: 審判手帳のコピー提出による。
- ② 昇級認定審査参加申込書による。

※ 審判委員会ホームページの推薦審査(S2)申込書を使用して提出

● 第2次審査: 第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

2015年10月12日(月)野田市総合公園 陸上競技場

筆記試験(競技規則等に関するもの): 80点以上

体力試験: 40m走(6.9秒以内)×6回

150m(40秒以内)+50m(50秒以内)インターバル走、16回連続で走ること。

なお、2次審査当日合否発表後、合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する。

● 第3次審査: 第2次審査合格者に対して、実技審査を実施

2試合以上実施する。

2試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

※ 申込期間が決まり次第、Web サイトに掲載いたします。



クールビズ 実施中



《2015年度 第2回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

2015年度、第2回目の昇級試験を実施いたします。

多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

(1) 受験資格: 2015年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー4級審判員として登録していること。

(2) 次の審判実績のどちらかを有していること。

① サッカー4級審判員として10試合以上の審判を行っていること。

a. 10試合のうち、8試合以上主審を務めていること。

b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。

c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。

② サッカー3級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。

注意: 顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する

(3) 健康など

① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。

(職場や学校などの定期健康診断を含む)

② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

(1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

(3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

● 第1次審査: 書類審査

① 審判実績確認: 審判手帳のコピー提出による。

② 昇級認定審査参加申込書による。

※ 審判委員会ホームページの昇級認定審査(S3)申込書を使用して提出

● 第2次審査: 第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

2015年10月12日(月)野田市総合公園 体育館・陸上競技場

筆記試験(競技規則等に関するもの): 80点以上

体力試験: 150m(50秒以内)+50m(60秒以内)インターバル走、12回連続で走ること。

なお、2次審査当日合否発表後、合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する。

※ 申込期間が決まり次第、Webサイトに掲載いたします。



がんばれ
受験生!

《2015年度 第2回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ》

(この推薦予備試験は平成28年4月(予定)に行われる関東協会2級昇級試験のための予備テストです)

1. 資格要件

- (1)受験資格: 2015年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員として登録していること。
- (2)次の審判実績を有していること。
 - ①フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。
 - a. 15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものを計算する。
 - ②サッカー2級審判員
- (3)健康など
 - ①認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ②スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4)審判活動
フットサル2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や関東サッカー協会、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1)関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2)参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3)申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

● 第1次審査:書類審査

- ①審判実績確認:審判手帳のコピー提出による。
- ②昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出

● 第2次審査:第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

2015年10月12日(月) 野田市陸上競技場

筆記試験(競技規則等に関するもの):80点以上

体力試験:1000m 走 4分40秒以内

スピードテスト(10m) 12秒以内

アジリティーテスト(30m) 23秒以内

なお、2次審査当日合否発表後、合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する。

● 第3次審査:第2次審査合格者に対して、実技審査を実施

3試合実施する。

3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

※ 申込み期間が決定し次第、Webサイトに掲載いたします。



《2015年度 第2回 フットサル3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

2015年度、第2回目の昇級試験を実施いたします。

多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1)受験資格:2015年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。
- (2)次の審判実績のうちどちらかを有していること。
 - ①フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。
 - a. 経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。
 - ②サッカー3級審判員
- (3)健康など
 - ①認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ②スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4)審判活動
フットサル3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1)(公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2)参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3)申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

●第1次審査:書類審査

- ①審判実績確認:審判手帳のコピー提出による。
- ②昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出

●第2次審査:第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

2015年10月12日(月) 野田市総合体育館/野田市陸上競技場

筆記試験(競技規則等に関するもの):70点以上

体力試験:1000m 5分30秒以内

スピードテスト(10m) 14秒以内

アジリティーテスト(30m) 26秒以内

なお、2次審査当日合否発表後、合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する

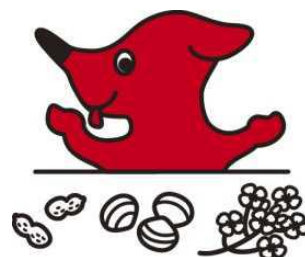
※ 申込期間が決定し次第、Webサイトに掲載いたします。



●○JFAからのお知らせ○●

★2015/2016年度のサッカー競技規則の改正がありました★
～内容はJFAのHP等でご確認ください～

http://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/law_soccer_150611.pdf



Congratulations!!



今後のご活躍を期待しています！(敬称略)

●○2級審判員合格者●○

藤田 稔、小倉 敬右

●○3級審判員合格者●○

上中 圭、小澤 裕、齊藤 丈、早乙女 悦洋、
鈴木 忠彦、高木 功、中野 準之、永島 淳平、
森中 淳、柳平 辰

●○3級サッカー審判インストラクター●○

五十嵐 泰之、桜井 大介、金次 雄之介



●○講習会のお知らせ●○

2015年度第1回 3級インストラクター更新講習会のお知らせ(サッカー)

2015年度第1回の3級インストラクター更新講習会を開催いたします。

2016年度も引き続きインストラクターとして活動を希望される方は必ず受講してください。

なお、日時・講習会場及びKICK OFFサイトからの申込期間等の詳細については、後日、該当者宛にメール及び郵送等で直接お知らせいたします。

- ◆ 開催日時 2015年9月 終日を予定
- ◆ 場所 後日連絡
- ◆ 講習形式 更新講習に向けた講義技法の講習または実技
- ◆ 講習会費 審判資格有 ¥4,000 審判資格なし ¥6,500

2015年度フットサル4級審判新規取得講習会(フットサル)

(公社)千葉県サッカー協会主催のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『KICK OFF』でご確認ください。(申込方法・注意事項は13ページを参照ください。)

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
7月12日(日)	9:30~ 10:00	10:00~ 17:00	講義	都賀 コミュニティセンター	都賀駅	50名	有り	Web参照

カテゴリー審判員研修会

2015年8月1日(土) 18時~20時 会場:館山運動公園体育館

2015年10月12日(月) 18時~20時 会場:大網白里アリーナ

帯同審判員対象フォローアップ研修会

2015年7月20日(祝月) 時間:15時~18時 会場:大網白里アリーナ

2015年9月6日(日) 時間10時~13時 会場:大網白里アリーナ

●○女子部よりのお知らせ●○



女子部では、昇級希望者のための競技規則勉強会を計画しています。また、8月と2月に「強化実技研修会」、10月または11月に「初心者実技研修会」を予定しています。興味のある方は 吉田伸子(070-5576-5133 cfarc-05@willcom.com)までご連絡ください。



ユース&若手審判員集まれ！



〈第11回ユース及び若手審判員更新講習会〉

—あふれるエネルギーをこの1泊2日に！—

昼間は実際にU15・U18の試合を使用した実技研修や主審・副審の動き方についてのトレーニング。夜間はビデオを使った研修を予定しています。国際審判員やリーグ担当審判員の楽しい話が聞けるかも…。

日時：8月22日(土)～23日(日) 宿泊研修(更新講習会)

対象：年齢12～25歳

資格：3級及び4級取得者(初心者の方も大歓迎です)

場所：千葉市内中学校・高等学校 他(予定)

宿舍：篠原旅館(千葉市中央区松波2-2-8)

費用：3級(12～18歳) ¥2,000 :3級(19～25歳) ¥6,800

 :4級(12～18歳) ¥1,500 :4級(19～25歳) ¥6,000

※いずれも更新費用・受講料が含まれた金額です。

下記の申込先より申し込み後、各自にて支払期限までにお支払ください。

※宿泊費用は8月22日(土)当日、別途集金いたします。

(12～18歳) ¥5,000 (19～25歳) ¥8,000

申込先：「KICK OFF」から「講習会・研修会区分」にて「更新講習会」を選択し、以下をお申込みください。

○【25歳以下限定：ユース若手対象】サッカー3級(または4級)審判員実技更新講習会

※更新なしで参加希望の方、単日での参加希望の方は下記問合せ先までご連絡ください。

※単日での更新はできません。

※その他不明な点は、下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ先：(育成部) 右田 智也(みぎた としや) 090-3691-4134

E-Mail: t.migita@ab.auone-net.jp

2015年度 ユース審判員育成勉強会(公募)のお知らせ

ユース審判員を対象に、年間を通じてレフェリー技術の向上と競技規則の理解を図ります。資格は取得したが実際に活動する機会が無い、審判活動は行っているがインストラクターに見てもらったことが無い、更に上達を目指したいなど、現時点でのレベルは様々で構いません。是非この機会に「ユース審判員育成勉強会」に登録をし、同年代の仲間同士でレフェリング技術の向上を図っていきませんか？

登録者には直接、育成部が毎月1回開催する実技研修会や競技規則勉強会のご案内を差し上げます。申込み、参加要項は以下の通りです。

【応募資格】

※年齢：18歳未満(2015年4月1日現在) 19歳になる年度まで再登録不要

※資格：サッカー審判員4級及び3級取得者

※研修会参加にあたり、保護者の同意が得られること

【申込方法】

以下の項目を下記申込先までメールにてお送りください。2015年度「ユース審判員育成勉強会」参加者としての登録完了のお知らせを返信します。(随時受付)

- ① 氏名(ふりがな)
- ② 生年月日(西暦)
- ③ 資格(級)及び登録番号
- ④ 在籍学校名または所属チーム名
- ⑤ 連絡可能電話番号
- ⑥ 連絡可能 E-Mail アドレス ※エクセルファイル閲覧不可の場合はお知らせください。
- ⑦ 経験試合数(主審○試合、副審○試合) ※練習試合も可。



【申込先】

育成部・右田智也(みぎたとしや) t.migita@ab.auone-net.jp

【備考】

- ※「ユース審判員育成勉強会」の申込・登録費用は不要です。
- ※育成部が案内する勉強会での受講料は不要です。(勉強会での更新はできません)
- ※各研修会場への交通費および昼食は各自でご負担ください。
- ※実技を受講の際は、審判服等審判用具一式を各自でご用意ください。
- ※育成部が案内する研修会への参加は、学校行事(部活動を含む)を優先してください。
- ※その他不明な点は、育成部・右田までお問い合わせください。

若い審判員の皆さん！ご参加お待ちしております★



◆各講習会等の申込について(サッカー・フットサル共通)◆

申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ●「審判登録webサイト」 (公社)千葉県サッカー協会ホームページ(http://www.chiba-fa.gr.jp/)から入れますので、各自で行ってください。 (毎日、午前2時頃～午前6時頃まではメンテナンスのためご利用頂けませんので、ご注意ください。) ●支払完了画面まで画面の説明をよく読んで進んでください。 ●申込途中で画面が進まなくなり切断・中止された方、支払完了画面まで行かなかった方、申込みを済ませたが講習会費用を支払っていない方等、受講確定になっていないので再度最初から(受付整理番号は無視して)やり直してください。
申込期限	●「審判登録Webサイト」では、期限を過ぎると申込みが出来なくなりますので、ご注意ください。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ●当日の持ち物や諸注意は、申込みの際に「審判登録Webサイト」上でご確認ください。 ●振込みに掛かる手数料については、各自でご負担願います。 ●講習会受講後に審判証とワッペン等が(公財)日本サッカー協会から送られてきます。 ●郡市協会主催の更新講習会は、別途会場費がかかる場合がございますので、必ず詳細を確認してください。
問合せ先	(公社)千葉県サッカー協会 TEL:043-310-4888 (審判担当) 営業時間:月～金曜日の9:00～17:30 ※各会場への問い合わせは厳禁とします。



(公社)千葉県サッカー協会がお引越ししました！

皆さん、忙しく働いています。BGMもなく黙々と。なのでBGM代わりにお邪魔してきました。昨年の年末に4階から1階にお引越しをしたので、ずいぶん広くなりました。横幅は私の足で16歩。ダッシュもできそうですが大人なのでやめました。事務局より、審判員の皆さまにお伝えしたいことを言付かりましたので、この場をお借りして…。



- *キックオフシステムでお困りの際は、050-2018-1990までお問い合わせください。
- *審判報告書は協会事務局ではなく、大石審判委員長のE-Mailまでお送りください。
- *フェアプレーワッペンの販売を考えています。決定次第審判委員会webサイトに詳細をUPしますので、カミングスーン！！

皆様も、千葉に御用がある際にはぜひお立ち寄りください！

試合に臨む気持ち

千葉県審判委員会 大石 康

次の「リスペクト」という文章を読んでみてください。中学1年の女子サッカー選手が書いた作文です。

「リスペクト」

私はこの1年間でたくさんの試合を経験しました。

高校生との試合、男子との試合、年上との試合、年下との試合などなど…。私とその試合や試合観戦で毎回感じていたことが2つあります。

1つ目は試合に年齢や性別関係なく本気でぶつかりあっている姿や、たくさんの方にリスペクトの気持ちを持ってプレーする姿が、見ている人の感動を呼ぶということです。なぜなら、試合をしていたり観戦していたりすると、年下が年上に本気で仕掛けていく姿勢、女子が男子に怖がらずにタックルする姿を目の当たりにしてきたからです。こういうプレーを見る度に、このプレーこそリスペクトの象徴と言うのではないか。とっていました。その1人1人のプレーを見ていると試合に引きつけられたし、勝敗なんて関係ないんじゃないかと思ってしまう。

もう1つは相手と味方と審判、その他試合に携わっている全ての方々に感謝の気持ちを持ち、1人1人がリスペクトの気持ちをもってプレーすることが大切ということです。もちろん勝敗も技術面も大切だと思います。しかしそれ以前に試合ができることを当たり前だと思って、指導者の方・仲間・相手・審判の方のありがたさに気がつけない選手は、どんなにすごいプレーをしても見ている人の心には残らないと思います。私が見た試合でも、審判に文句をつける選手、暴言を吐く選手、味方の失敗をばかにし責める選手などもありました。そんな人が1人でもいるチームは、他の10人がどんなに頑張っているても感動する試合などできないと思うのです。というか見ているても感動しなかったし、その1人のせいで空気や雰囲気が悪くなっていて味方がやりづらそうなのが伝わってきました。

結局は技術の問題以前に、当たり前のことを当たり前に行ける選手が一流の選手になれるのだと思います。

なので私は「リスペクト」という言葉と、陰で支えてくれている方の存在を常に忘れずにプレーできる選手になれるように努力をし続け、これからもサッカーを続けるにあたって、見ている人を魅了できて感謝の気持ちをプレーで表せるような選手になりたいです。そして周りの方々に感謝の気持ちを伝えられるように上を目指し続けていきたいです。応援よろしくおねがいします！

文章を読んだ皆さんは、どんな感想を持たれたのでしょうか？



ここ2年間ほど、私は県内の審判研修会で若手審判員などに話をする機会がある度に、審判員としての試合に臨む気持ちについていろいろ話をしてきました。

作文を書いた女子選手のように、選手は試合全体(プレー、選手の態度、ベンチ、審判員など)をよく見えています。サッカーが本当に大好きで本気になってサッカーに取り組む姿勢に、年齢も性別も競技レベルも関係ありません。すべてのサッカーファミリーが気持ち良くサッカーにかかわること、そんな環境を皆で作っていかねばいけません。

当たり前のことですが、審判員として自分が割り当てられた試合が小学生や女子の試合であろうと、それがたとえ練習試合であったとしても、常に真摯な態度でプレーヤーのために全力で審判をしなければいけないことを、この作文は教えてくれていると思いました。私たち審判員は感謝の気持ちを持って、割り当てられた試合をこれからも全力で取り組んでいきましょう。



●○○●都市協会だより●○○● 各都市より毎回ホットな話題をお届けします！

【流山市】

千葉県サッカー協会四種委員会 第二ブロック審判部活動報告

「若手審判育成事業 レフェリーハイスクールについての活動報告」

県四種委員会第二ブロック審判部として、平成25年度より千葉県四種審判部長の並木克之氏指導の下、県内全地域8ブロック内に於いて準備活動し若手審判員の育成事業を始動いたしました。その中で、第二ブロック審判部といたしましては、25年7月28日に、第1回のレフェリーハイスクールとしての開校式を開催いたしました。地域内の少年サッカークラブで選手として活躍し、地域の中学校においてプレーヤーであり審判に興味を抱いている人たちを募ってスタートいたしました。

参加いただいている皆さんは、レフェリーハイスクールの募集要項をご理解して頂き、ご両親とまた部活の先生達の理解を得たうえで、プレーと審判活動を両立しながら、人間性・社会性・常識・責任感等を身に付けサッカーのプレーヤーとして以外に違った角度からの「楽しさ」や「やりがい」を身に付けるような育成していく事を目指しています。

昨年度におきましては、地域ブロック内の四種大会などを利用して頂きまして実技研修会を積み重ね、審判員として試合に対応するにあたり、試合前の打合せ・審判団としての確認事項などもあわせて、協力性やプレーヤーへのリスペクトなどの大切さを経験して頂きました。結果、4種各県大会に於いての審判団への派遣を並木部長より戴き、また県審判部の皆さまのサポートを得ながら、憧れのフクダ電子アリーナで開催されました、第37回JAバンクカップ千葉テレビ旗争奪千葉県サッカー選手権大会においての審判団として参加させて頂きました。第四種委員会審判部のレフェリーハイスクール生としてまた一回り大きくなり、自信を身に付けながら高校へと進学し、レフェリーハイスクール生としてさらにステップアップをすることを期待しています。

新年度に入り、4月19日のレフェリーハイスクールの開校式には一期生の新高校生3名と(一名が学校行事により欠席)二期生の新中学生8名が参加し、新年度としての「第二ブロック審判部レフェリーハイスクール」がスタートいたしました。今年度は第二ブロックの活動の中で、技術部とも協力し、スクール生が多くなった為に活気のある活動をしながら指導していきたいと考えています。

第二ブロック審判部責任者 中村俊人



レフェリースクール生への実技指導状況



27年4月19日開校式 渡部副ブロック長挨拶・参加スクール生 県審判部長 並木克之氏の指導状況

【市川市】

人心一新！新たな船出

この度、初代審判委員長 東哲也氏の後任として委員長職と言う重責を担うことになりました武藤和彦と申します。13年間にわたり市川市の審判活動全般をリードされてきた、氏の意思を継承しながら、信頼される確固とした自信を持った審判員の育成に微力ながら努めていきたいと思っています。

今年度の陣容は総勢50名の登録審判員が在籍しており、総務部・指導部・割り当て部が強い絆と連携を保ちながら各種別の大会に審判員を派遣しております。

また、嬉しいことに若手審判員や女性審判員が加わってきており、スタッフが一層充実してきました。多くを望まず、高くを望まない、プレーヤーズファーストな審判員を強化・育成して参りたいと所存です。どうぞ、よろしくお願ひします。

市川市サッカー協会審判委員会 委員長 武藤 和彦



広告主さま募集しています。

- ・千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
- ・この枠が1枠の大きさの目安です。

詳細、お申し込みは…(公社)千葉県サッカー協会事務局
(TEL:043-310-4888) にご連絡をお願いいたします。

編集後記

暑くなりましたが、皆さんお元気ですか？女子W杯での山岸さんを始め、千葉の皆様の活躍を嬉しく思います。こうやって、生まれた場所も年も環境も、全く違う皆さんとサッカーを通じて出会えたこと、同じ情報を共有できることが、すごい事ですよ！？レフェリーには、それぞれ担った役割があります。それぞれがそれぞれの役割を果たしてこそ、素晴らしいチームとなります。試合をリスペクトし、仲間をリスペクトし、サッカーをリスペクトする。そして試合に関わる全ての人それぞれをリスペクトすることが大事なんだと思います。レフェリーはそんなリスペクトの伝道師でありたいですね。さて、季節は夏を迎えます。しっかり水分を摂って、素晴らしいレフェリーチームになれるよう、熱中症にはお気を付け下さい！
(aya)

レフェリーニュース編集員

木川 綾

長谷川 鉄哉

唐崎 敦好

染田 洋

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail : girasole@gol. ne.jp

E-mail : jef_hasechan@tbz.t-com.ne.jp

E-mail : megusta_futbol@kxf.biglobe.ne.jp

E-mail : spzg2dw9@tea.ocn.ne.jp

http://cfa-referee.lolipop.jp/